

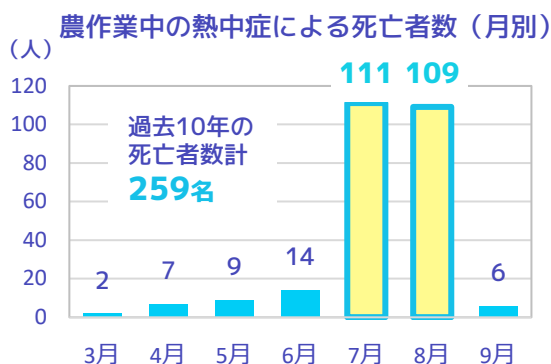
農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。

熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

* 農作業中の熱中症 *

- 毎年、約**30名**の方が農作業中の熱中症により**死亡**
- 死亡事故の約**85%**が**7～8月**に発生している一方で3～6月にも発生



* 予防のポイント *

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう!



熱中症対策

* 熱中症対策アイテム *

身体を冷やす

暑い時間帯の作業等が避けられないときに活躍



ファン付きウェア、
ネッククーラー

1人作業の備え

やむを得ず1人作業をする際
のリスクを回避したいときに
活躍



ウェアラブル端末、
応急セット

環境改善

作業場を涼しくしたり、休憩
の質を高めたいときに活躍



ミストファン

* 熱中症警戒アラートと MAFFアプリの連携 *

熱中症警戒アラートとは?

熱中症の危険性が極めて高くなると予測
された際に発表される注意喚起情報

STEP 1

MAFFアプリの入手



Android



iOS

STEP 2

地域の設定



マイページ
>プロフィール設定

STEP 3

PUSH通知ON



スマートフォン側の
通知設定も確認

STEP 4

通知が届く



登録した都道府県に
アラートが発生され
ると通知が届く

* 熱中症が疑われる場合には *

01 作業を中断



(代表的な症状)

- ・ 汗をかかない、体が熱い
- ・ めまい、吐き気、頭痛
- ・ 倦怠感、判断力低下

02 応急処置



- ・ 涼しい環境へ避難
- ・ 衣服をゆるめ体を冷やす
- ・ 水分・塩分を補給

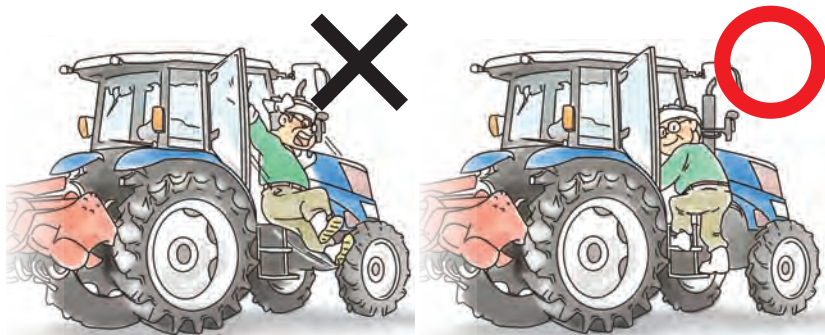
03 病院へ



応急処置をしても症状が改善
しない場合は医療機関で診療
を受けましょう!!

3 車高が高くなり、起こった事故

とくに降車時に注意。乗り降りには後ろ向きに。



事例 前向きに降り、足を滑らせ、凍った地面に手をついて、手首骨折

その他の事故

① 機体との接触、巻き込まれ(回転を止める)

- 作業機が回転、手を入れて巻き込まれ腕切断
- PTOに衣服が絡まり、あわや足を切断
- 田で足を滑らせ、トラクターに激突、膝靱帯断裂、膝血腫他

② 運転席周りは、クラッチ、レバーが突き出ている引っかけり

- 代掻き中、ロータリー点検後、運転席に戻る際、足を滑らせクラッチが入り転落、そのまま鉄車輪にひかれ、肋骨骨折、靱帯損傷他
- 耕耘中、後ろを振り返った時、クラッチレバーが肋骨に当たり、骨折

③ 公道での事故(低速車マークの設置)

- 夜、トラクターでマニュアルブレッダーを牽引し走行中、普通車に追突にされ、肋骨・骨盤骨折等
- プッシュトレイラーをトラクターで牽引し(全長14m)、右折時、普通車が追突

SERIES
シリーズ

安全対策・これだけは



トラクター事故

トラクター事故の3つの特徴

1 走行中の転倒・転落

- 直角カーブ、鋭角カーブ、坂道走行
- 狭い道幅、草むらで路肩・境界不鮮明
- ⇒ ブレーキの連結ロック、スピードを抑える

2 作業機の取替・修理時の事故

- 間違った手順での事故

3 乗降中の転落

- 大型化により車高が高くなって
- ⇒ とくに降車時は後ろ向きに

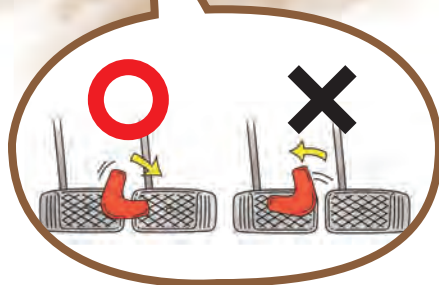
1 走行中の転倒・転落

①昇降路、走行中、ブレーキの連結ロックを！



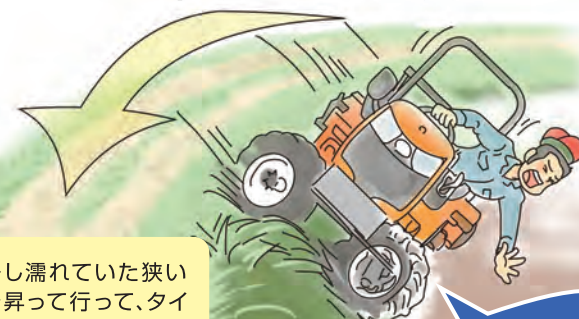
事例

斜度5°のカーブでブレーキをかけたとき、ブレーキの連結ロックがされておらず、急回転し、崖側に転落、下敷きとなる。



ブレーキの連結ロックのタイミングは、耕起終了後、昇降路の手前で、確実に

②危険！ 狭い道、坂道、直角カーブ、鋭角カーブ



事例

雨で少し濡れていた狭い坂道を昇って行って、タイヤがスリップ。トラクター転落、本人も7m転落。頸椎骨折、肋骨骨折。

スピードの出しすぎ！

草むらや風化で路肩が不鮮明、標識等の設置をT字路、鋭角カーブは鬼門！

2 作業機の着脱時の事故

おもい



事例

小麦播種機をトラクターに接続し、キャスターを外すとき、本来の手順を知らず、キャスターが倒れ足を直撃、親指骨折、1.5月休業。

手順を学ぶ！

4 エンジンを止めずに起こった事故!

事例

刃に絡まった蔓を取ろうと身を乗り出したとき、右手がスロットルレバーに触れ、回転刃が全開。指を切り裂く。



詰まり除去時や刈払機を置く時エンジン停止!

自走式草刈機の事故

方向転換時に事故多発

事例

余裕がないところで方向転換をしようとして、排水路に引きずられ落下。右肋骨骨折。



直進時以外、要注意!
畦での方向転換用の踊り場の設置

SERIES
シリーズ

安全対策・これだけは



草刈機の事故

刈払機事故の4つの特徴

1 傾斜面・法面の不安定姿勢による事故

- 30~40°以上の傾斜地・法面は滑りやすい
- ⇒小段の設置、スパイク靴の着用

2 回転刃の事故(接触、飛散物)

- キックバックや小石、チップの飛散
- ⇒防護の徹底、飛散防止カバーを外さない

3 事前の環境確認で防ぐ事ができた事故

- 草むらの中に潜む構造物、異物
- ⇒慣れた場所でも、事前確認

4 エンジンを止めずに起こった事故

- 回転を止めず、草の詰まりなどを除こうとして
- ⇒確実に、エンジンを切ってから

1 傾斜面・法面で滑っての事故

傾斜面・法面に小段の設置を！

事例

最初に小段を設けた時、村の年寄りから「公の法面を傷つけるとは何事か」と怒鳴られたが、現在では、そう言った人を含め、村中の人が小段を設けている。



小段を設置

傾斜面・法面に小段の設置、スパイク靴の着用

2 防護の徹底を！

回転する刃の危険から身を守る

事例

夕方4時半頃「ほんのちょっとの間」だからと、いつもは必ず着けるゴーグルをせずに草刈りを開始。開始3分後、目に何かが飛び込んだ。眼科で取り出してもらったのは、チップソーのチップだった。



3 作業前の環境確認を！

事例

「お盆も近づいたので、裏の草刈りでもするか」と草刈りを始めた。草丈約1m。わずか4m進んだところで、突然1.5mの深さの排水溝へ落下。アキレス腱断裂。

まずは、作業環境の点検



草むらに潜む構造物(穴、溜桝)や切り株、大きな石、空き缶などを、まず点検